

2023年3月17日卒業式来賓挨拶

学校法人大阪観光大学理事長の山本です。本日は、インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、中国、台湾、日本、ネパール、ベトナム、バングラディシュ、10の国・地域の方が卒業されます。卒業される学生のみなさんおめでとうございます。

また本日会場でご参列の保護者のみなさん、オンラインで参加されているご家族の方にも、同じ気持ちをお伝えしたいと思います。

さきほどは山田大阪観光大学長からの挨拶がありました。私は、学校法人大阪観光大学の理事長です。学校法人ってなに、理事長とはなに。学長とどう違うのと疑問に思われるかと思います。少し説明させていただきます。

日本では学校、大学もそのひとつですが、これを設置することができるのは、国、地方公共団体、そして私立学校を設置できる学校法人だけです。この学校法人理事会が経営責任をもち、その責任者が理事長ということです。そしてみなさんの学びの場に責任をもつのが学長であり、この卒業式を主催しています。

ところでみなさんの多くは、2019年4月に大阪観光大学に入学されました。このときには大阪観光大学を設置する法人は、「学校法人明浄学院」でありました。ところがみなさんもお存じのように当時の法人の理事長の不正、理事会の混乱により、本学は存立の危機に直面しました。みなさんは入学したばかりであり、せっかく入学したのにどうなるのかと心配をされたと思います。また2年生に入って卒業までは、コロナ禍にあって、学びのうえでも、生活のうえでも大きな困難をかかえての日々であり、保護者の方も心配も大きいものがあったと思います。

さいわい本学の価値をみとめ存続のために資金を提供される方、再生・再建の手続きを執行する法律家の方のご支援により、昨年4月1日より「学校法人大阪観光大学」と改称し、再生されることになり、私が理事長に選任されました。

私自身は、みなさんが体験された混乱が落ち着き、再建の可能性がみえたところで関与したわけですが、私が、いまお伝えしたいことは、この大学の再生、存続を可能にした力は、ここにおられる学生のみなさんが、混乱の事態のなかでも学び続けられからであり、それを保護者のみなさんが応援してくださったからです。また教職員のみなさんも、自らの未来への不安の中で学生たちの学びを支援しつづけていただいたからであります。

さらには本日も来賓としてご臨席していただいております藤原熊取町長様、泉佐野市、千代松泉佐野市長様、中井大阪外食産業協会会長様、濱元本学同窓会長様、本学後援会様

等多くの方からの温かい激励があったからだと思っております。

その意味で本日卒業のみなさんと保護者の方々、本学教職員、そして本日ご臨席いただいております方々に、この場を借りまして深く御礼を申し上げます。

さてみなさんは、いま社会に巣立とうとしておられます。コロナ禍で苦境にあった観光産業は急速な復活をしようとしているようです。しかしそれは単なる復活ではなく、新しい次元のもののように思われます。

本学の存在価値を確かにするため、私自身は、いま関西空港関係の方々はじめ観光振興、地域振興に取り組む方々と対話を重ねておりますが、多文化のコミュニティのなか学び、交遊を重ねている本学卒業生には、新たな次元の観光産業、地域振興の担い手としての期待と希望があるように思われます。卒業生のみなさんへの社会の期待は大きいのです。おいなる活躍を期待しています。

最後に、学びは大学卒業とともに終わりではありません。「リスクリング」というワードが使われるように、社会での仕事、活動の中で、また新たな学びの必要を感じることがあると思います。その際には、リスクリング、学び直したために本学に戻ってきてください。お待ちしております。

以上お祝いのことばといたします。

2023年3月17日

学校法人大阪観光大学理事長

山本健慈